



シラバス参照

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT1762		
科目名	韓国語Ⅱ		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 5		
講義室	1313	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚-5% A2 異文化適応-5% D1 市民的要素と参加-10% K1 ライティングコミュニケーション-30% K2 オーラルコミュニケーション-50%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	■ 科目概要 基本的な韓国語のメカニズムを紹介し、初級レベルの会話、文法を習得します。簡単な会話を楽しみながら正しい発音で何度も繰り返した後、自ら直接ハングルを書いて修得できるようにします。本講座で覚えた言葉や会話が旅行で活かされたり、韓国の言葉と文化について理解を深めたりするなど、日韓両国の新たなコミュニケーションに役に立てることを目指します。 授業形態は(講義・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■ キーワード ハングル、韓国文化、韓国社会		
授業の趣旨	■ 副題 日常生活で必要とする韓国語の基礎知識を学びます。 ■ 授業の目的 ①初級レベルの韓国語能力を高めるために、学んだ韓国語を使って、旅の小さな思い出になったり、韓国の社会と文化について理解を深めたりするなど基本的なコミュニケーション能力を身につける。 ②基本的なコミュニケーション能力を高めるために、聞く・話す・読む・書くの4つの技能について何度も繰り返しながら修得する。 ③韓国に関する知識を養うために、韓国語の習得と同時に韓国の文化や社会について理解する。 ■ 授業のポイント 外国語はインプット・アウトプットを何度も繰り返すことがとても大切です。毎日予習・復習を行うことで日常生活での基本的なコミュニケーションが出来るようにします。		
総合到達目標	■ グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる能力を高めるために、韓国語の基礎知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、日常生活に必要な基本的なコミュニケーション能力を身につける。 ・ ハングルの完全に読み書きすることができる。 ・ 基本的な発音体系が理解でき初声、中声、終声を正確に発音することができる。 ・ 韓国語の基本的な構造、時制の表現方法、文章の連結方法を理解し、正確に使うことができる。 ・ 挨拶、自己紹介、食事の注文、買い物、道の尋ね方、交通機関の利用、電話等、日常生活で必要とする簡単な表現ができる。		

成績評価方法	■授業理解確認課題2回（20%）:適用ルーブリック A1・A2・D1 （評価の観点）当該単元の授業理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評（30%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）韓国語授業内容の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■授業総括・到達度確認・レポート講評1回（50%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）日常生活で必要とする簡単な表現が韓国語でコミュニケーションできるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。	
履修条件	『韓国語Ⅰ』を履修した学生（授業中の私語と携帯使用禁止）	
履修上の注意点	文法の暗記や文字を見てわかるだけではコミュニケーションができません。授業で学んだことをインプット・アウトプットを何度も繰り返しながら、授業外でも積極的に使ってみましょう。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 『韓国語Ⅰ』の全般的な復習と『韓国語Ⅱ』のガイダンス ②授業概要 『韓国語Ⅰ』の全般的な復習と『韓国語Ⅱ』授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する（E1）。 ③予習（60分） シラバスを確認する。 ④復習（60分） 『韓国語Ⅱ』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、『韓国語Ⅰ』の全般的な内容を復習する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	2	①授業テーマ 連体形を表す表現 ②授業概要 連体形を表す表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	3	①授業テーマ 過去形を表す表現 ②授業概要 過去形を表す表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	4	①授業テーマ 未来形を表す表現 ②授業概要 未来形を表す表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	5	①授業テーマ 可能／不可能，義務の表現 ②授業概要 可能／不可能，義務の表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A2、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	6	①授業テーマ 願望／願望の否定の表現 ②授業概要 願望／願望の否定の表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、A2、K1、K2)。 ③予習（60分）

	前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
7	①授業テーマ 命令／禁止／勧誘の表現 ②授業概要 命令／禁止／勧誘の表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
8	①授業テーマ 『韓国語Ⅱ』中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評 ②授業概要 今まで授業で学んだことを、授業内小テスト、あるいはリアクションペーパーを通じてその成果を把握する(E1)。 ③予習（60分） 今まで授業で学んだことを復習する。 ④復習（60分） 授業内中間テストで理解しきれていなかった部分を再確認する。
9	①授業テーマ 動作の継続・進行の表現 ②授業概要 動作の継続・進行の表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、I1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ 状態の継続表現 ②授業概要：状態の継続表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ 使役、受け身、下称終止形、引用の表現 ②授業概要 使役、受け身、下称終止形、引用の表現について学習し、自分で読み書きが自由にできるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
12	①授業テーマ 韓国映画で学ぶ韓国語 ②授業概要 韓国映画で学ぶ韓国語について学習し、自分で簡単な会話ができるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
13	①授業テーマ 韓国文化の体験 ②授業概要 韓国文化の体験について学習し、韓国文化の理解ができるようにする(A1、K1)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。

	14 ①授業テーマ 韓国語Ⅱの総まとめ ②授業概要 韓国語Ⅱの総まとめについて学習し、自分で読み書きが自由になれるようにする(A1、K1)。 ③予習(60分) 今までの授業を振り返り、理解していない部分をメモする。 ④復習(60分) 今まで授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。 15 ①授業テーマ 『韓国語Ⅰ&Ⅱ』授業総括・到達度確認・レポート講評 ②授業概要 『韓国語Ⅰ&Ⅱ』の総まとめについて学習し、自分で読み書きが自由になれるようにする(A1、K1)。 ③予習(60分) 今までの授業を振り返り、理解していない部分をメモする。 ④復習(60分) 今まで授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目	韓国語Ⅰ(RMGT1761)
教科書	教科書は特に使用しません。
参考書・参考URL	授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率	

